

..... 学 会 案 内

日本周産期メンタルヘルス学会 第 19 回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会

日 程 2023 年 10 月 28 日(土)～10 月 29 日(日)

会 場

一橋講堂

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 2 階



開催方法

現地ならびにオンデマンド配信

大会長

竹内 崇(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野リエゾン精神医学・精神腫瘍学准教授)

テーマ

多職種で支える周産期リエゾンのバトン～皆の“育つ”“生きる”を支える～

プログラム(予定)

- ・ 特別講演
- ・ 共催セミナー
- ・ シンポジウム
- ・ ワークショップ
- ・ 一般演題発表(口演, ポスター)
- ・ 総会, 評議員会
- ・ 付設展示会 など

ホームページ <https://procomu.jp/pmh2023/>

お問い合わせ

株式会社プロコムインターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明 3-6-11 TFT ビル東館 9 階

TEL : 03-5520-8821 / FAX : 03-5520-8820 / E-mail : pmh19@procom-i.jp

ご挨拶にかえて

今回の学術集会のテーマは「多職種で支える周産期リエゾンのバトン」です。

周産期の領域は、対象となる妊産婦に対して、大変多くの職種が携わりますが、時間の経過によって、中心となってくかわる職種が次々と変化していきます。それをいかにして、円滑に、切れ目なくつなげていけるかどうか、そのためにはどんなことが大切か、といった想いがこのテーマには込められています。また、サブテーマを「～皆の“育つ”“生きる”を支える～」としました。誰もが安心して、子育てができ、生きていける社会をつくっていくことを目指すこと、つまり、周産期にまつわる支援とは、より広く社会の課題として捉える視点が必要と考え、社会全体で支援できる形をつくっていかうという想いを込めました。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(大会長 竹内 崇)